

惑星科学フロンティアセミナー2025参加報告

藤澤 卓也¹



図1: 道の駅しんしのつ前での参加者集合写真.

本年度の惑星科学会フロンティアセミナーは、8月25日(月)から28日(木)にかけて北海道石狩郡新篠津村の「しんしのつ温泉 たっぷの湯」にて開催されました(図1)。新篠津村でのフロンティアセミナーの開催は3回目になります。今回のフロンティアセミナーの参加者は30名ほどで、学部生や道外からの学生の参加も多く、また交流の機会ともなりました。宿泊先では、北海道ならではの食材をふんだんに使った食事が堪能でき、温泉にもゆっくり浸かって日頃の疲れを癒すことができました。夜の懇親会では、普段お話しする機会のない先生方や他大学の学生とお酒を酌み交わしながら研究について語り合うことができ、大変貴重な時間となりました。個人的には早朝会場近くの篠津湖をランニング

1.北海道大学理学院宇宙物理学専攻
fujisawa@ep.sci.hokudai.ac.jp

できたのが思い出深いです。夏とは思えない涼しい風を感じながら、視界いっぱいに広がる田園風景の中を走るのは格別でした。

ここからは2日間にわたって行われたセミナーの内容についてご紹介します。今回の講師は犬塚修一郎先生で、「銀河系における星形成」というテーマでご講演いただきました(図2)。セミナーは以下の4つの章で構成されていました: 1.概要. 2.星間物質と星形成. 3.原始星形成・星団形成. 4.原始惑星系円盤。第1章では、銀河のバブル構造について、犬塚先生ご自身の最新の研究を交えてお話しいただきました。第2章では、超新星爆発の衝撃波による銀河内構造の発達について解説いただきました。第3章では、分子雲コアからの星形成について、第4章では、原始惑星系円盤の進化における磁場とアウトフローの働きについて詳しく解説していました。



図2: セミナー中の様子. 写真奥が講演中の犬塚先生.

だきました.惑星大気を研究している私にとって、普段なかなか触れる機会のない内容で、銀河ハローから星形成領域までの様々なスケールでのお話は非常に興味深く、大変勉強になりました。

特に印象的だったのは、衝撃波による物質の相転移でした。

今回のセミナーには、学部生や道外からの参加者も多く、犬塚先生は研究に用いられている物理について、イメージだけでなく基本的な式から丁寧に解説してくださいました。本セミナーの様子はMOSIRプロジェクト (<https://www.cps-jp.org/~mosir/pub/>) によって記録されており、講義資料・動画はホームページ上で公開されています。もし、興味がある方や詳しい内容を知りたい方は、公開されている資料も参照してい

ただければと思います。

ご多忙の中、2日間にわたる講義をしてくださった犬塚修一郎先生に心より感謝申し上げます。また、本セミナーの企画・運営をしてくださったフロンティアセミナー実行委員会の皆様、そして参加費を補助していただいた日本惑星科学会様にも感謝いたします。惑星科学フロンティアセミナーは、様々な分野の第一人者の方から直接講義を受け、参加者同士で活発な議論を交わすことができる貴重な機会です。分野を横断した交流を通して、新たな視点や刺激を得ることができました。この参加報告書が、来年度以降のフロンティアセミナーをさらに盛り上げる一助となれば幸いです。

著者紹介

藤澤 卓也



北海道大学理学院宇宙物理学専攻.